

タジキスタン共和国 (Republic of Tajikistan)

1. 一般事情

面積	約 14 万 3,100 km ² (日本の約 40%) (出典: CIS 統計委員会)
人口	820 万人 (2013 年: 国連人口基金)
首都	ドゥシャンベ (Dushanbe)
民族	タジク系 (84.3%)、ウズベク系 (12.2%)、キルギス系 (0.8%)、ロシア系 (0.5%)、その他 (2.2%) (タジキスタン共和国統計庁)
言語	公用語はタジク語 (イランのペルシア語やアフガニスタンのダリー語などとともにイラン語派の西方方言群に属する。現在タジク共和国で使用されているタジク語北西方言は、ウズベク語などテュルク諸語との接触により文法や語彙の面で大きな影響を受けている)。ロシア語も広く使われている。
宗教	タジク人の中ではイスラム教スンニ派が最も優勢。パミール地方にはシーア派の一派であるイスマーイーール派の信者も多い。



2. 政治体制・内政

政体	共和制
元首	エマムアリ・ラフモン大統領 (2013 年 11 月選出、任期 7 年) (2007 年 4 月に「ラフモノフ」から「ラフモン」に改姓)
議会	二院制 ・上院: 「国民議会」(任期 5 年、定数 34、前回上院選挙は 2010 年 3 月 25 日) ・下院: 「代表者会議」(任期 5 年、定数 63、前回下院選挙は 2010 年 2 月 28 日)

3. 経済

主要産業	農業 (綿花)、アルミニウム生産、水力発電
国民総生産 (GDP)	75.9 億ドル (2012 年: IMF)
一人当たり GDP	953.3 ドル (2012 年: IMF (暫定))
経済(実質 GDP) 成長率	7.5% (2012 年: IMF)
物価上昇率	5.8% (2012 年: IMF)
失業率	2.3% (2011 年: タジキスタン共和国統計庁)
貿易額	・輸出: 12.57 億ドル ・輸入: 32.06 億ドル (2013 年: タジキスタン共和国統計庁)
主要貿易品目	・輸出: 非貴金属 (主にアルミニウム)、繊維・繊維製品 (主に綿花・綿花製品)、輸送機関・車両・設備、鉱物、植物製品 ・輸入: 鉱物 (主にボーキサイト)、輸送機関・車両・設備、化学製品、植物製品、非貴金属、食料加工品 (タジキスタン共和国統計庁)
主要貿易相手国	・輸出: 中国、トルコ、ロシア、イラン、スイス、ラトビア、カザフスタン ・輸入: ロシア、カザフスタン、中国、ウクライナ、イラン、米国、トルクメニスタン、ウズベキスタン (2010 年: タジキスタン共和国統計年刊)

通貨	ソモニ (Somoni: 2000 年 10 月 30 日導入) (CIS 統計委員会)
為替レート	1 ドル=約 4.91 ソモニ (2014 年 5 月現在: タジキスタン国立銀行)

4. 農業

農業生産額	25 億 6,429 万ドル (2012 年)
主要農畜産物	スイカ (15.3%)、ジャガイモ (12.2%)、牛乳 (10.5%)
農地面積	耕地: 86 万 ha、放牧地: 387 万 ha
主要経営形態	デフカン農場: 98%、その他の農場: 2%

5. 日本との関係

貿易額(単位:千ドル)			
年	日本の輸出(A)	日本の輸入(B)	収支(A-B)
2009	9,173	4	9,169
2010	1,400	26,205	▲24,804
2011	884	13,059	▲12,174
2012	7,445	10,916	▲3,472
2013	1,331	1,132	199
主要貿易品目 (2013 年)	日本の輸出: 食料品 (26%)、輸送用機器 (21.2%) 日本の輸入: 原料品 (98.8%)		
在留邦人	47 人 (2012 年 10 月現在)		

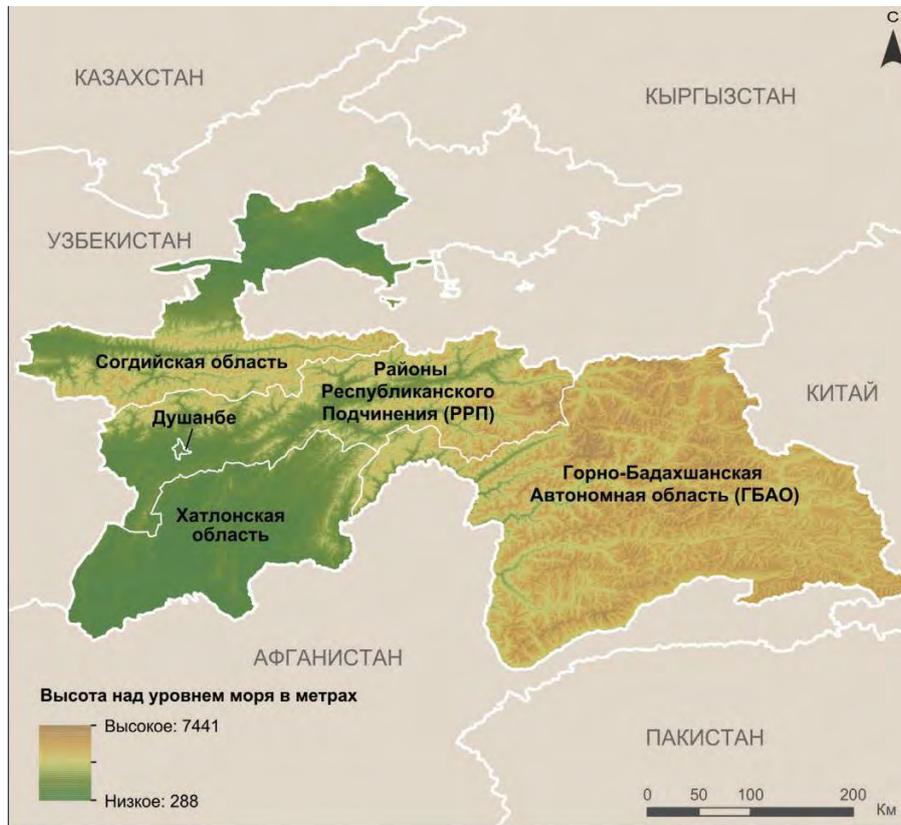
(出所)
1-3: 「一般事情」「政治体制・内政」「経済」: 外務省
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/tajikistan/index.html>
4: FAOSTAT
5: ロシア NIS 調査月報 2014 年 6 月号、外務省

1. 農林水産業概況

(1) 地理

タジキスタン共和国の総面積は 14 万 2,600 km²であり、中央アジアの南東部に位置し、西はウズベキスタン、北はキルギス、南はアフガニスタン、東は中国と国境を接している。国土の 93%はパミール、ギッサール・アライ、天山山脈などの山岳地帯であり、これらの山脈は、北部はフェルガナ盆地、北西部はザラフシャン、南西部はバフシュ、ギッサール盆地の豊かで肥沃な土地によって隔てられている。

タジキスタン国内には長さが 10 kmを超える河川が 947 あり、その主なものはピャンジ川、シルダリア川、バフシュ川、ザラフション川である。またサレス湖、カラクリ湖など大きな湖もある。タジキスタンには多くの民族が居住しており、民族構成はタジク系 84.3%、ウズベク系 12.2%、キルギス系 0.8%、ロシア系 0.5%、その他の民族 2.2%となっている。



出所 : National Statistical Committee

タジキスタン共和国の地形図

(2) 気候

タジキスタンの気候は大陸性であり、地球の亜熱帯地帯の最北部に位置している。その特徴は、強烈な太陽の放射熱と乾燥した空気である。気温の1日の変化、季節の変化が大きく、地形の複雑さと高度の差によって、国内各地の気候には大きな差が生じている。渓谷と山裾の平野部では7月の気温は23～30℃であり、1月には-1～3℃である。年間降水量は150～300mmで夏は雨が少ない。



出所：weatherbase (<http://www.weatherbase.com/>)

月平均気温と月平均降水量(左:mm、右:°C)¹⁶

(3) 農業政策の特徴

タジキスタンの産業の中心は農業であり、特に農作物の生産が盛んである。旧ソ連時代には南西部のギッサール盆地やバフシュ盆地、北部のフェルガナ盆地を中心に綿花栽培が行われていた。その他、小麦、大麦、ジャガイモ、稲、野菜、果物(メロン、スイカ、リンゴ、ブドウ、アンズなど)などが栽培され、家畜としては牛、羊、ヤギ、ヤクが飼育されていた。

独立後、市場経済へ移行する過程でコルホーズとソフホーズの再編成が行われ、それらの基盤の上に、農業生産の効率を高めるためにデフカン集団農場、デフカン農場などが台頭してきた。2013年の農業総生産額は、農作物の1,150億2,500万ソモニと、畜産の525億4,100万ソモニを合わせた1,675億6,600万ソモニであった。2013年の全農業生産高の内訳は、6.7%が集団農場、30.8%がデフカン農場、62.5%が個人事業主である。

¹⁶ 気温：72都市、104年間平均。降水量：72都市、101年間平均。

(4) 農業セクター概況

1) 土地利用

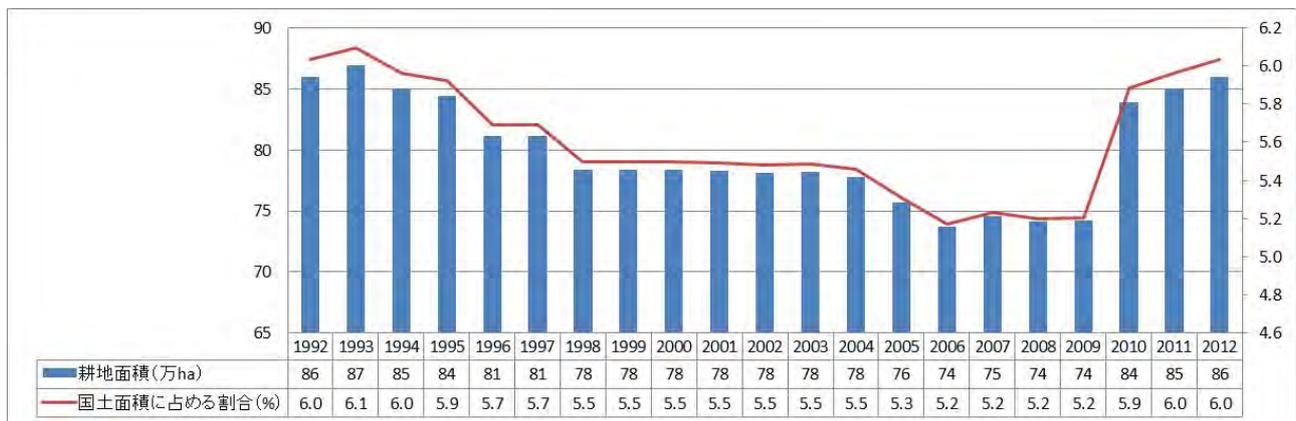
タジキスタンの国土 1,430 万haのうち、農地は約 490 万haであり、そのうち 86 万ha（全土の 6%）が耕作地である。6 月から 9 月下旬にかけて雨がほとんど降らないため農業には灌漑設備が必要であり、実際、作物の 85%以上は灌漑農地から生産されている。しかし農地全体は増加しているにもかかわらず、灌漑農地の面積は減少傾向にある。例えば、1997 年には灌漑農地は 64 万haであったが、2012 年には 59 万haに減少している。

タジキスタンと日本の土地利用状況(万ha)

国	タジキスタン							日本
	1992	1995	2000	2005	2010	2011	2012	2012
国土面積	1,425.5	1,425.5	1,425.5	1,425.5	1,425.5	1,425.5	1,426 (100.0%)	3,780 (100.0%)
農地	448.9	458.2	457.3	467.2	484.4	485.5	487.5 (34.2%)	455 (12.0%)
耕地面積	86.0	84.4	78.4	75.7	83.9	85.0	86.0 (6.0%)	425 (11.2%)
永年作物地	12.5	11.5	10.2	11.7	13.0	13.0	14.0 (1.0%)	30 (0.8%)
永年牧草・放牧地	350.4	362.3	368.7	379.8	387.5	387.5	387.5 (27.2%)	0 (0.0%)
森林	40.8	40.9	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0 (2.9%)	2,500 (66.1%)
その他	909.9	900.5	901.3	891.4	874.2	873.1	871.1 (61.1%)	691 (18.3%)
陸水	25.9	25.9	25.9	25.9	25.9	25.9	25.9 (1.8%)	134 (3.5%)

出所：FAOSTAT、日本国農林水産省

(カッコ内は国土面積に占める割合)

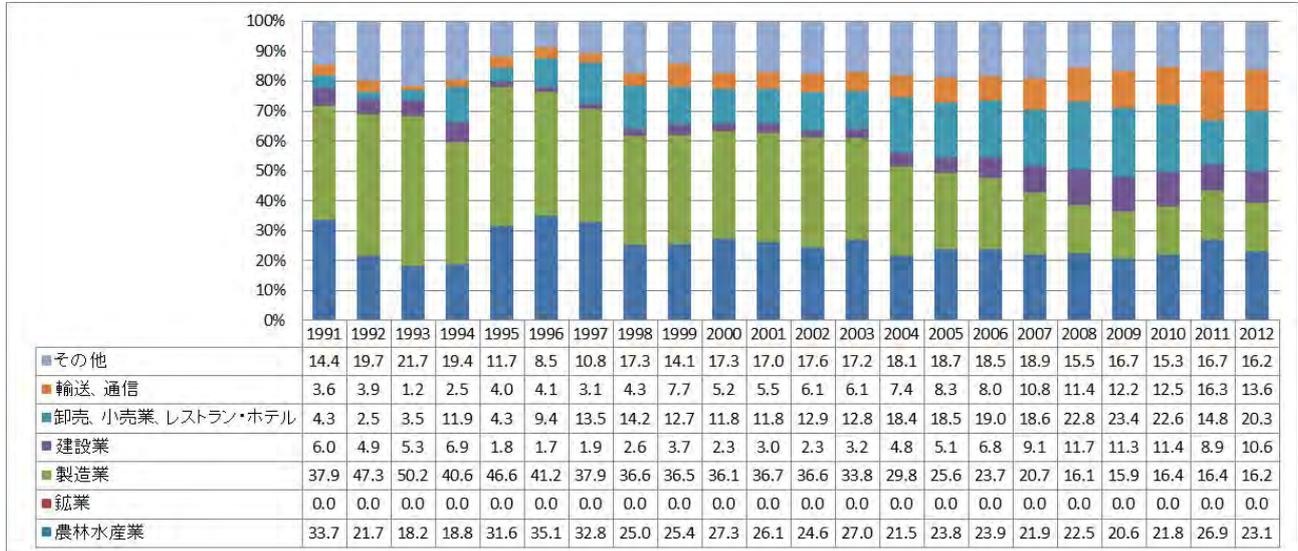


出所：FAOSTAT

耕地面積の推移(左:万ha、右:%)

2) 国内産業における農業の比重

タジキスタンの主要な産業は農業であり、GDP 全体の 19%を占めている。特に綿花栽培、羊毛の生産などが盛んである。またアルミニウムの生産および精製などの鉱業、繊維産業などの軽産業、石油、天然ガスの採掘などのエネルギー産業が盛んである。特にアンチモン鉱の生産においては世界第4位である。

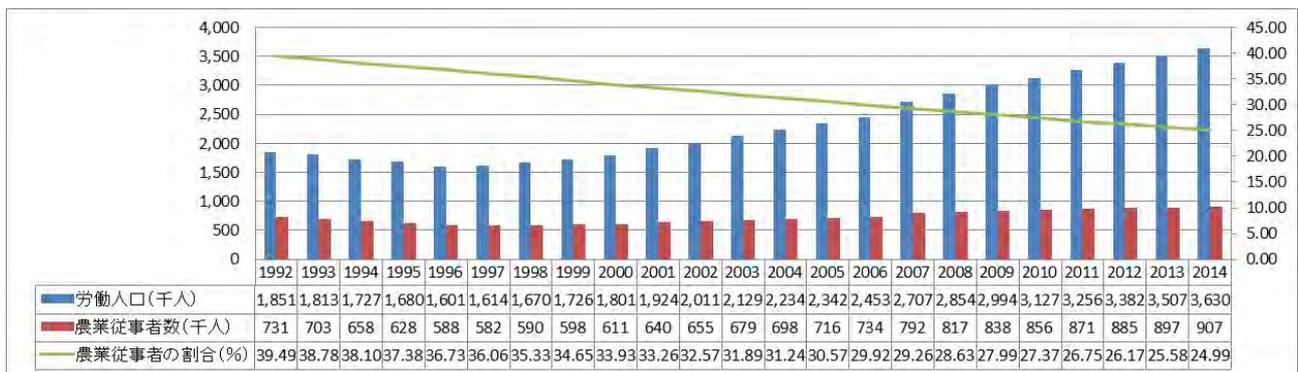


出所：国連統計

産業構造(GDP 構成比)の推移(%)

3) 農業就業人口

農業従事者の数では全労働人口の 25%を占めるなど、キルギス、カザフスタンなど近隣国と比して高く、数としてはわずかずつではあるが増加傾向にあることがうかがえる。ただし、統計の数字では確認できない若手男性労働者 100 万人以上が周辺国へ単純労働者として出稼ぎに出ており、農村の労働者は不足している。



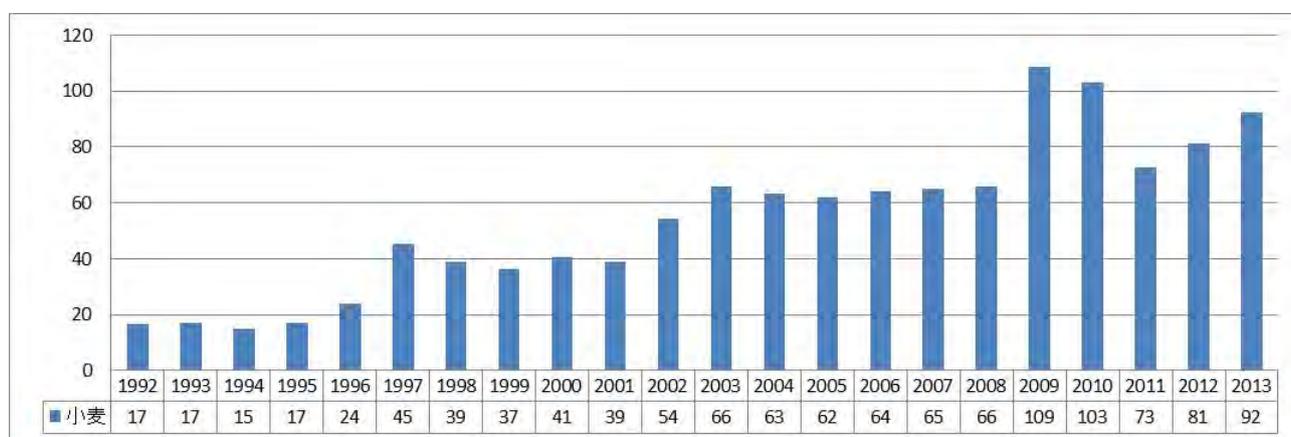
出所：FAOSTAT

農業就業人口の推移(左:千人、右:%)

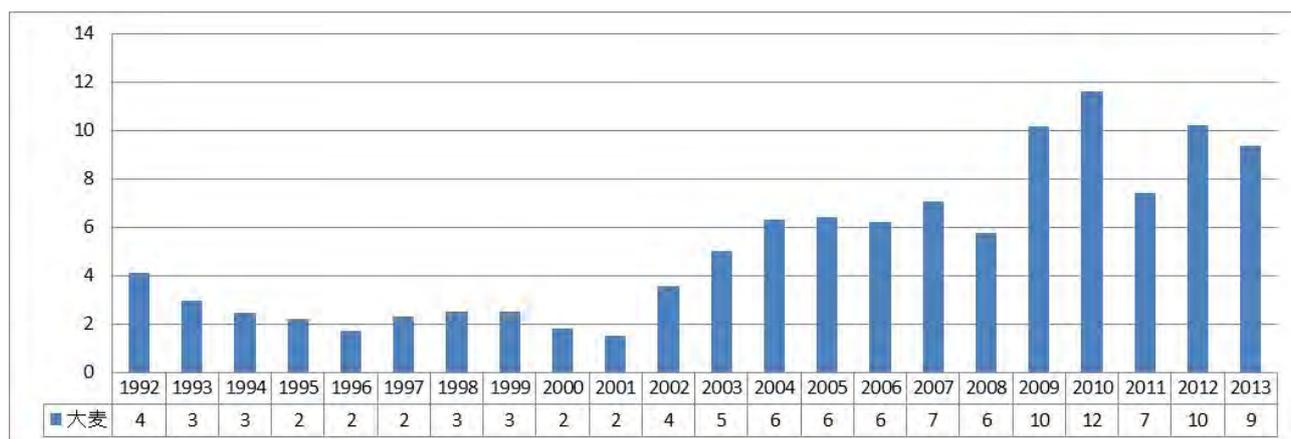
4) 農業生産の動向

① 主要農産物の生産動向

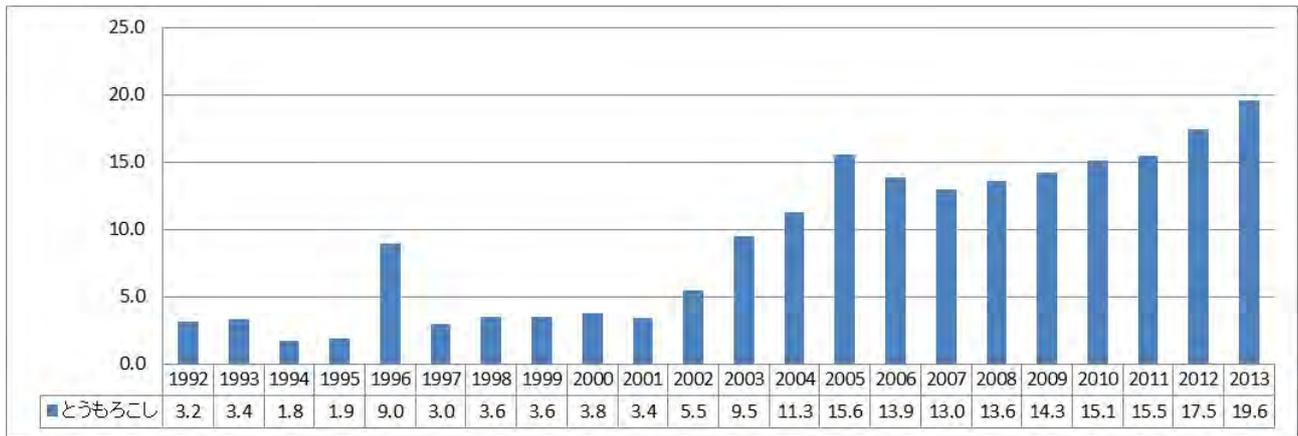
主要な作物は小麦、綿花であり、この2つで全作付面積の67%を占めている。主要農産物の生産量は小麦は2003年以降、増えているが、ジャガイモは1992年から2013年の間に5倍以上の伸びを示している。一方、綿花は1991年には80万トンだったが2009年には29万6,000トンにまで減少している。現在タジキスタン政府は、綿花のモノカルチャーから作物の多様性を図ろうとしている。2012年のデータによれば、穀物の生産量は123万トンであり、これは2011年と比較すると12.2%増、綿花は2011年よりも0.5%増の41万7000トン、ジャガイモは14.8%増の99万トン、野菜は8.1%増の134万トンと、全体的に増加している。これは新しい経済体制に順応したことと、民営化の進展などが農業部門に大きな変化を促したことによる。2008年から2012年の間でみても、農作物全体の生産量は8~10%増加している。



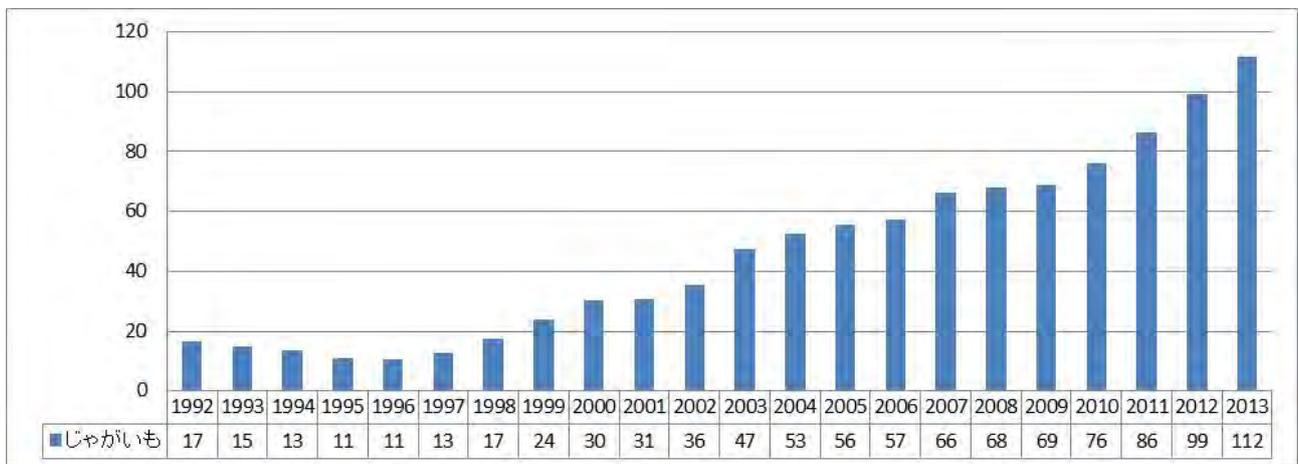
小麦の生産量の推移(万トン)



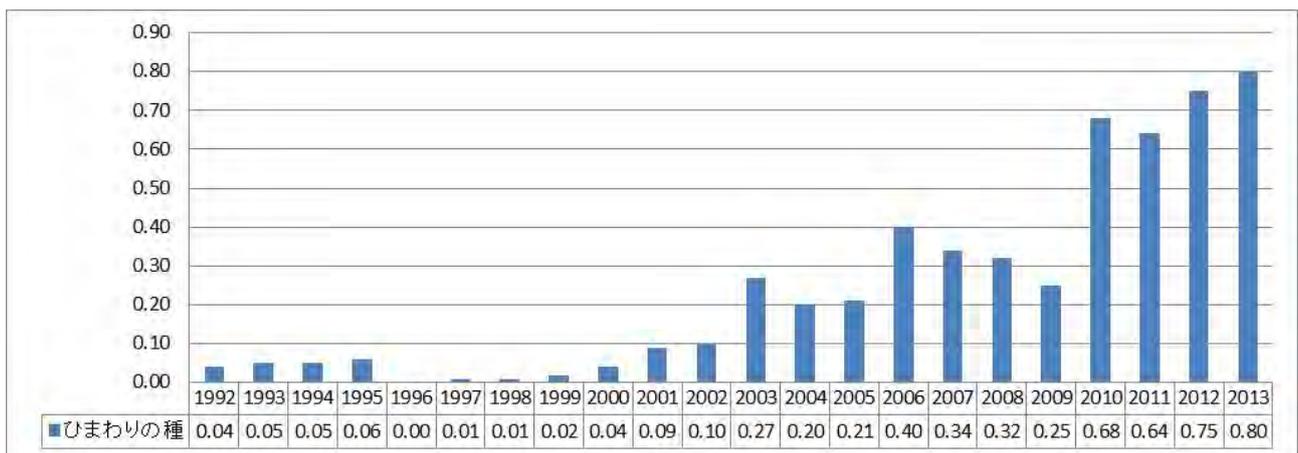
大麦の生産量の推移(万トン)



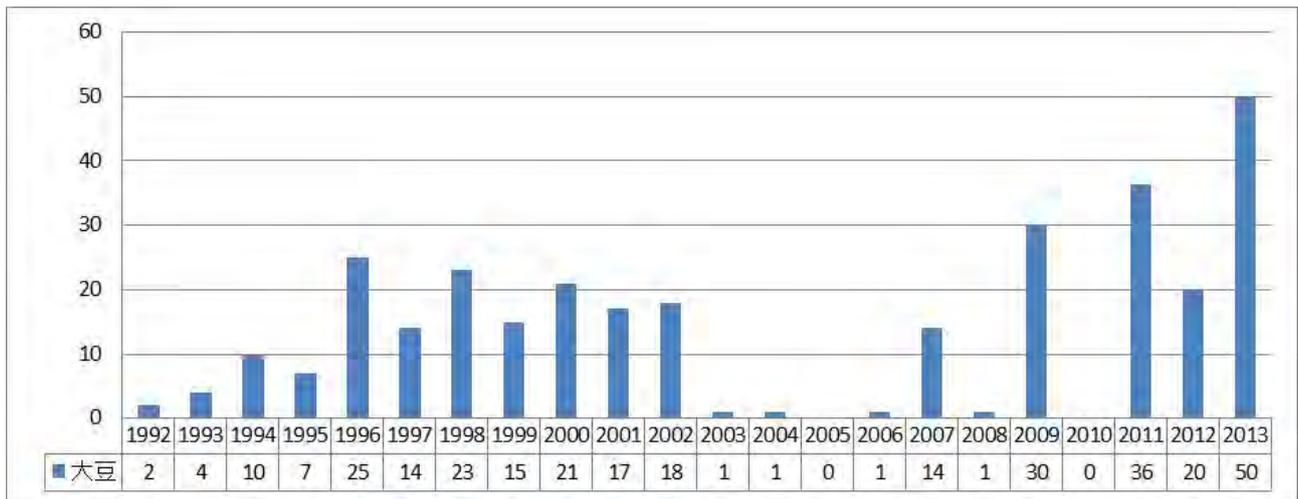
トウモロコシの生産量の推移(万トン)



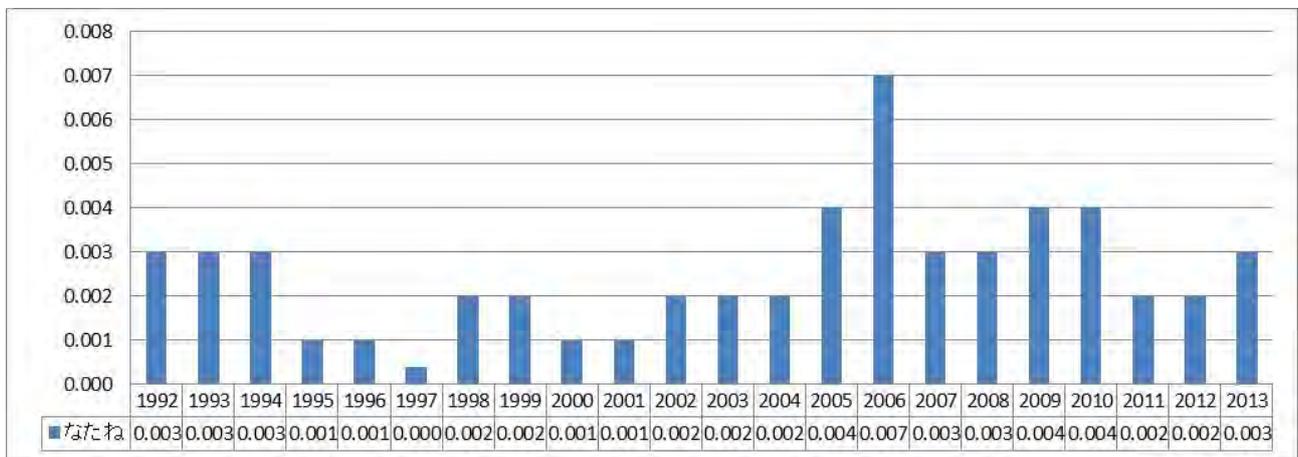
ジャガイモの生産量の推移(万トン)



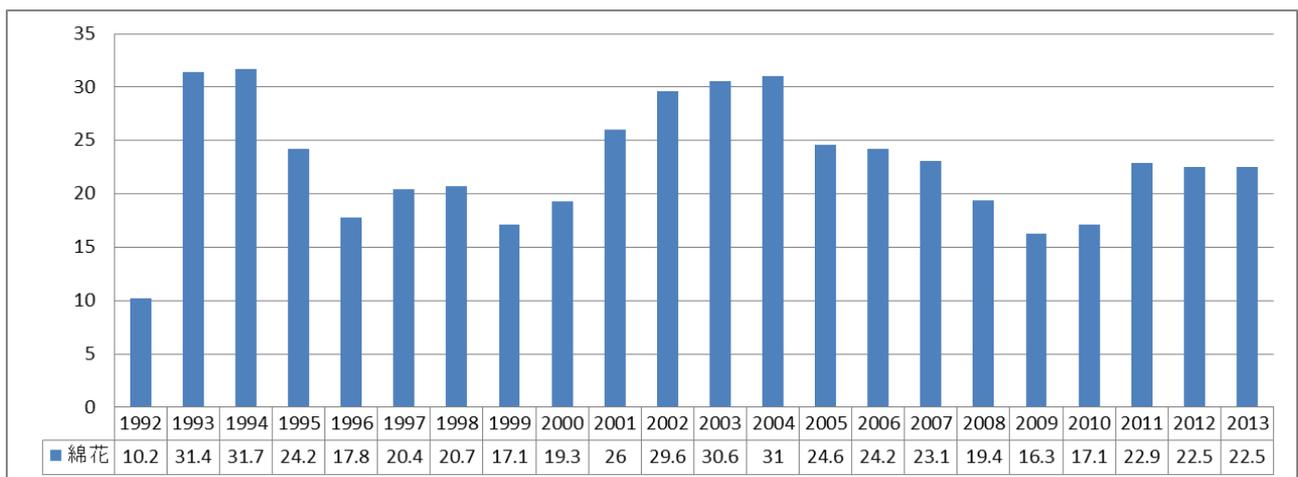
ひまわりの種の生産量の推移(万トン)



大豆の生産量の推移(万トン)



なたねの生産量の推移(万トン)

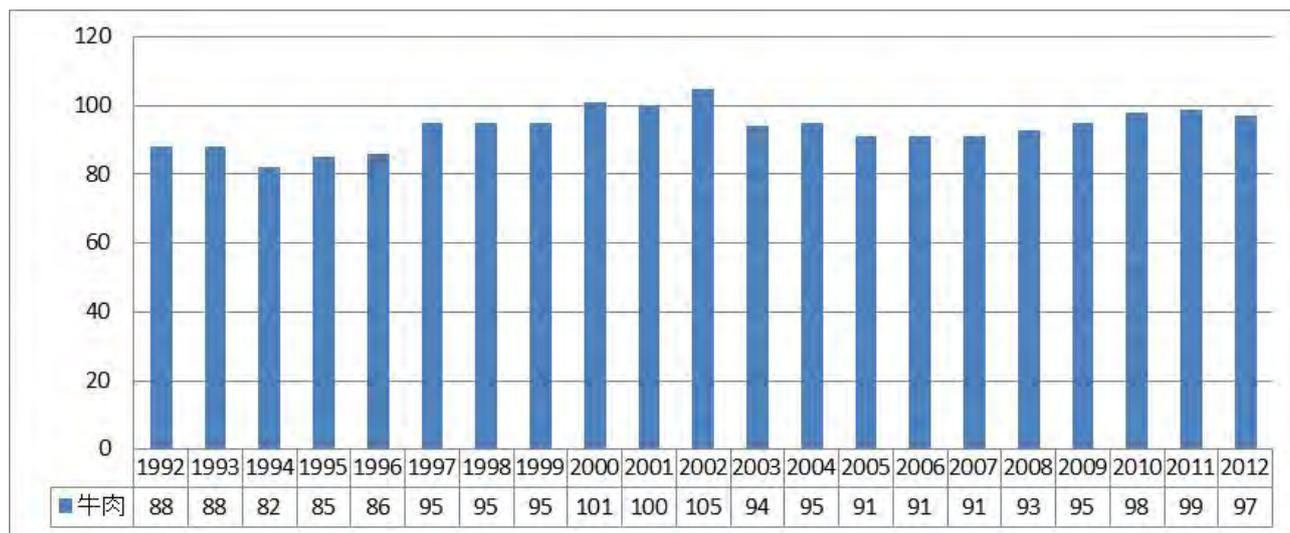


綿花の生産量の推移(万トン)

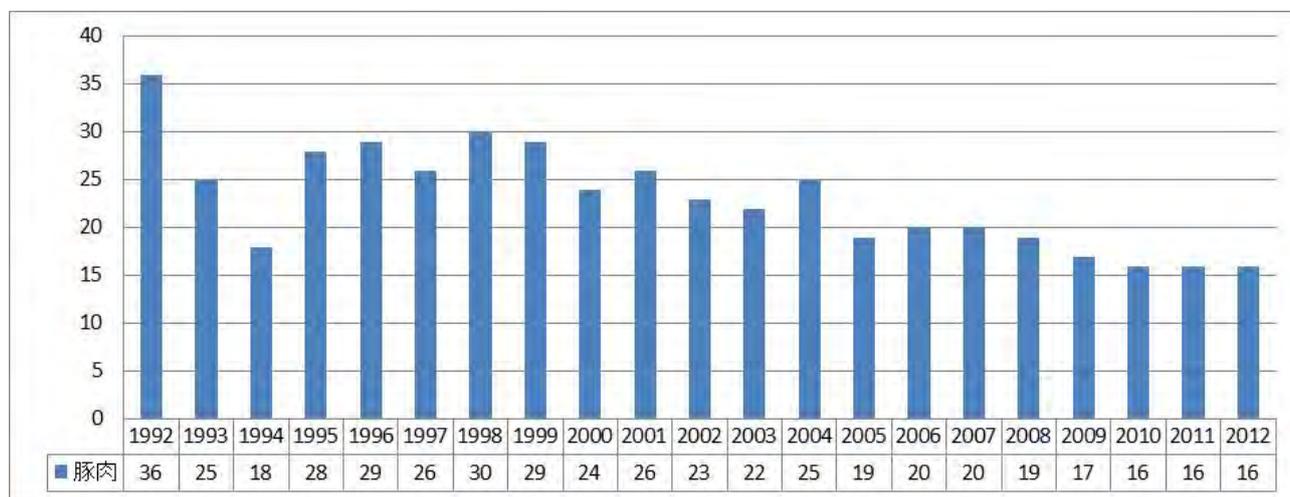
※以上 8 点、出所：FAOSTAT

②主要畜産物の生産動向

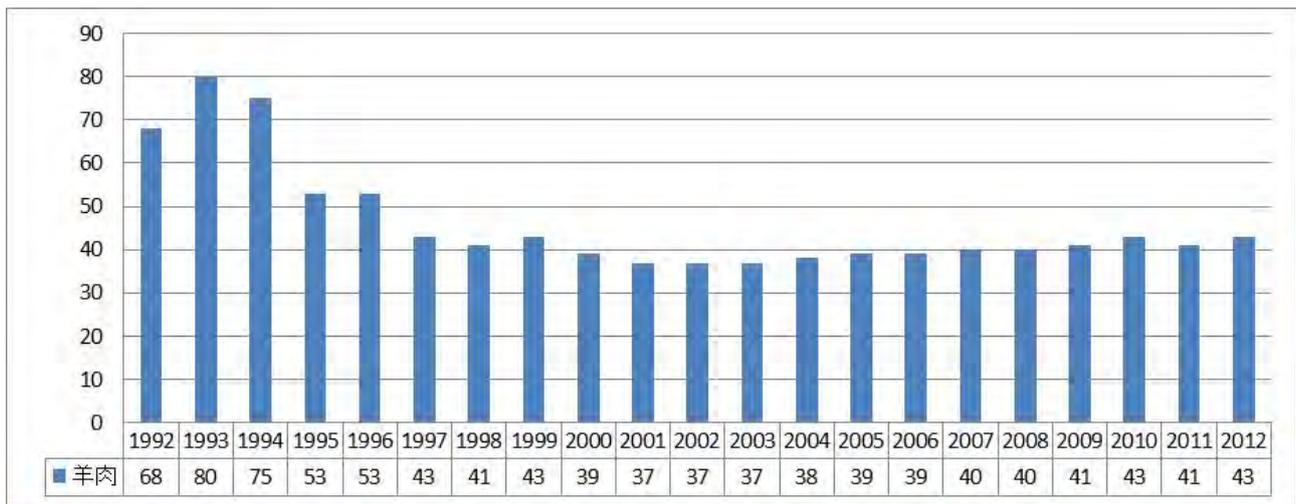
畜産は全農業生産の30%超の割合を占め、食肉、牛乳の生産、羊や豚、鶏の飼育など活発な生産活動を行っている。しかし近年、穀物生産へのシフトにより、飼料の生産が減少したため、それに伴い長いスパンで見ると畜産物の生産量も減少傾向にある。家畜の疫病なども生産を減らしている大きな要因である。しかし2013年の牛の飼育頭数は204万5,000頭と、前年と比べて1.5%増であり、食肉の生産量が7.5%増、卵の生産量が11.8%増と、微増であるが上昇を示しているものもある。また農村地域では、零細農家が1家族で1～3頭の牛のほか、羊や鶏などを育てている。



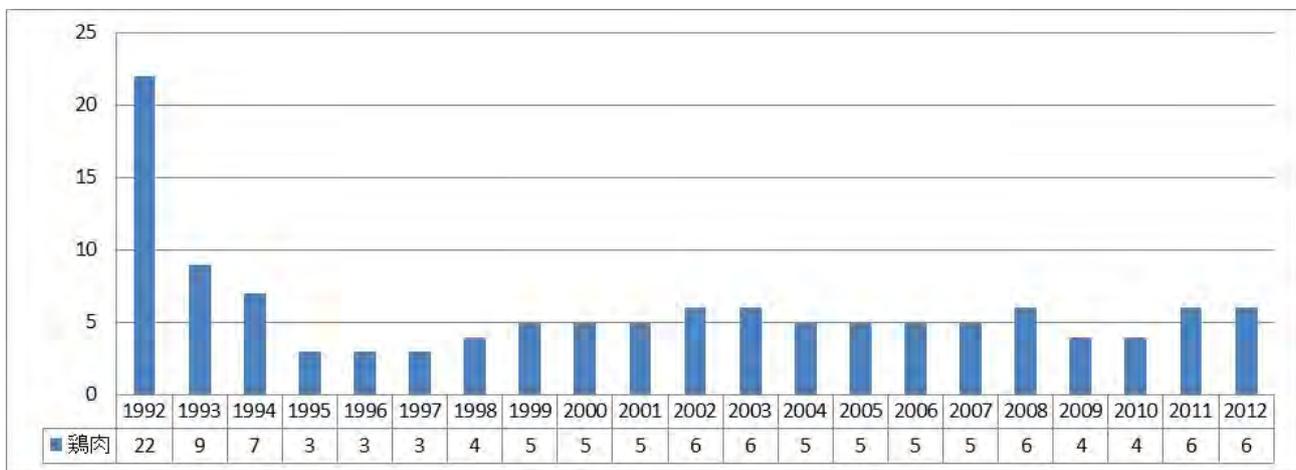
牛肉の生産量の推移(千トン)



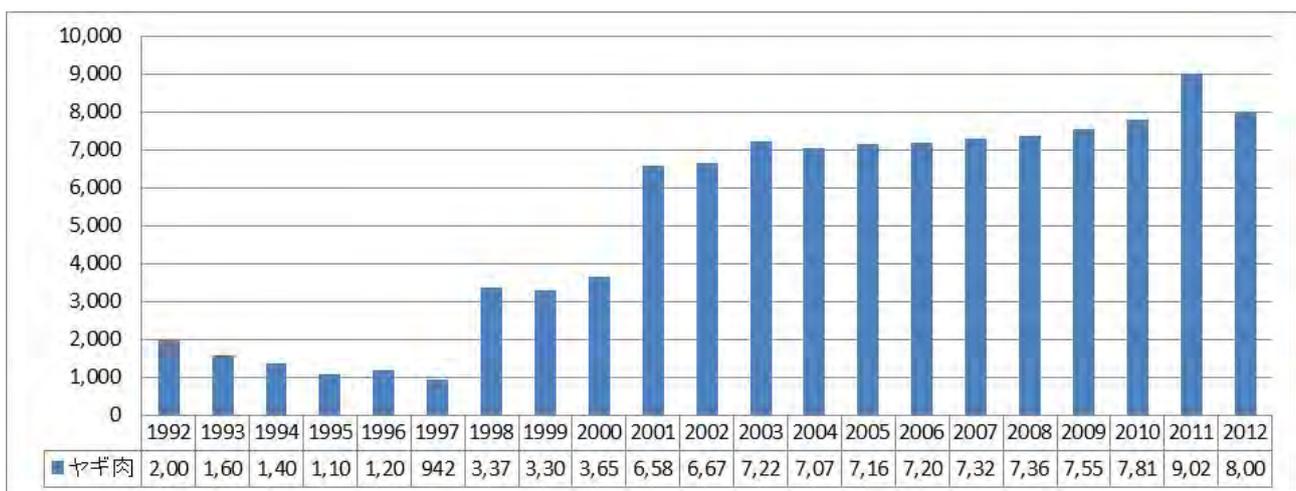
豚肉の生産量の推移(千トン)



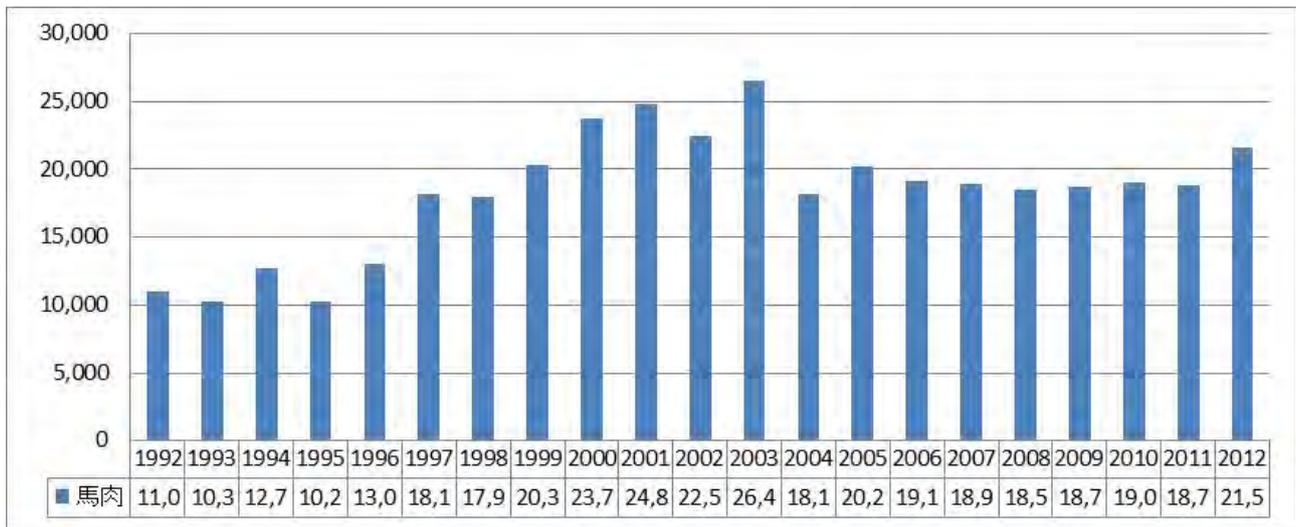
羊肉の生産量の推移(千トン)



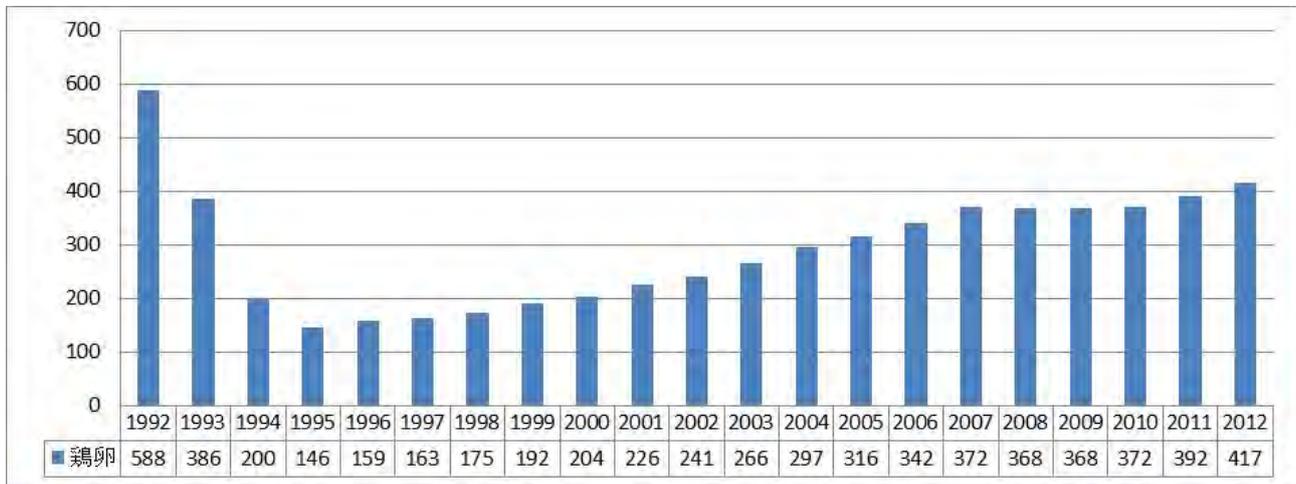
鶏肉の生産量の推移(千トン)



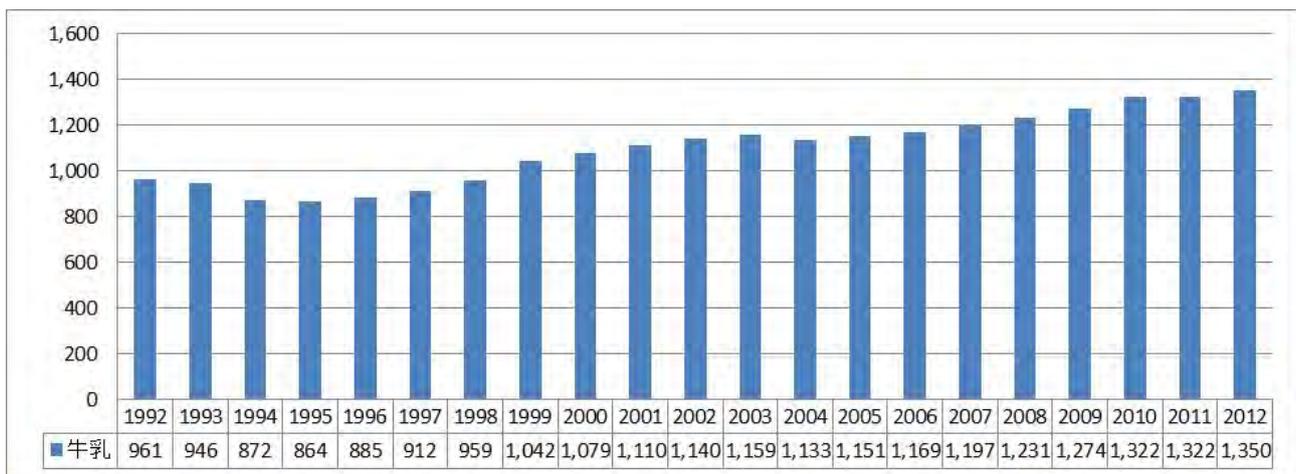
ヤギ肉の生産量の推移(トン)



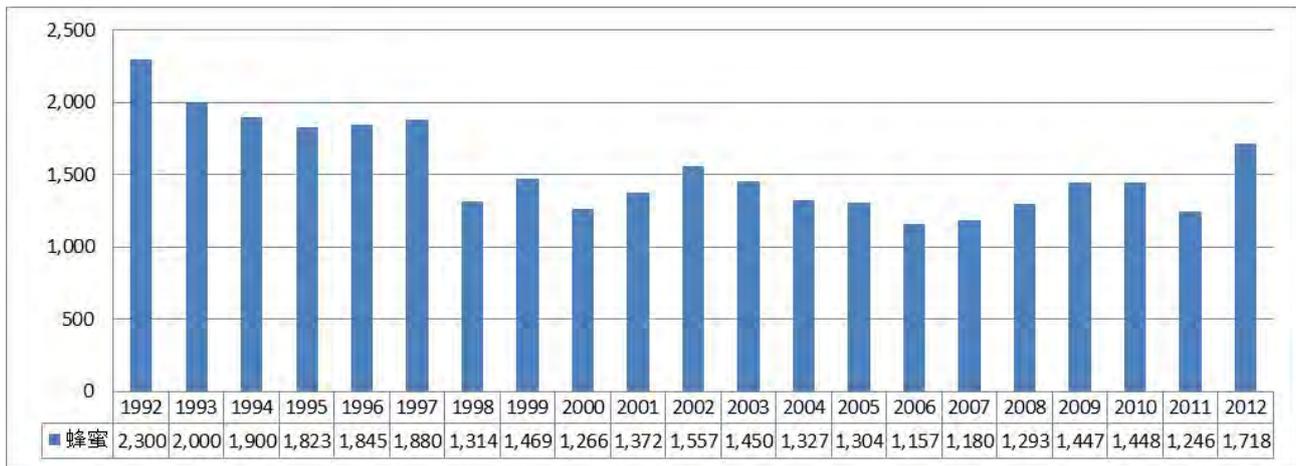
馬肉の生産量の推移(トン)



鶏卵の生産量の推移(百万個)



牛乳の生産量の推移(千トン)



蜂蜜の生産量の推移(トン)

※以上 9 点、出所：FAOSTAT

5) 農業経営・生産組織の動向

タジキスタンの農業は、以下の 4 つの形態に分類できる。それぞれ 2011 年の農場数を記した。

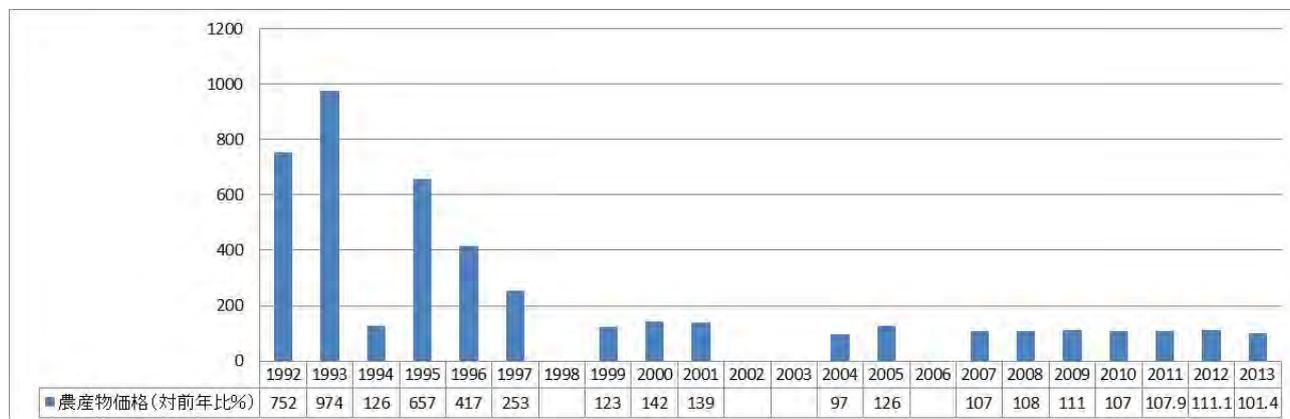
- ・デフカン農場 : 複数の家族が集まって構成された農場。農場数約 5 万 4,000
- ・生産農業組合 : 農場数 357
- ・コルホーズ、ソフホーズ : 農場数コルホーズ 1、ソフホーズ 5
- ・農業企業 : 農場数 7
- ・小規模零細農家 : 1 ha 未満の農場をもつ農家。農場数不明

デフカン農場とは 1 人で経営するものから 100 家族以上が集まったものまで規模はさまざまである。2011 年時点では、デフカン農場は 5 万 4,000 農場存在し、農業の担い手の大半を占めている。デフカン農場のうち 80% は 2~20 ha の規模である。¹⁷

¹⁷ 参考資料：「タジキスタン農業の再編と農民組織の役割」（北海道大学 中村正士、坂下明彦）
http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/49135/3/67_6.pdf

6) 主要農林水産品の価格

タジキスタンは農産物の流通システムが著しく遅れており、仲買人が農家から直接買い付けるか、農家が市場で直接販売するかのいずれかである。そのため明確な価格形成システムが存在せず、価格は、時期、場所ごとに相対的に決定されているため、価格の変動に一貫性が欠けている。



出所：CIS 統計委員会

農産物価格の前年比の推移(%)

2. 農林水産関連国家政策

(1) 概況

タジキスタン農業政策の基本指針は 2012-2020 年タジキスタン共和国農業再編プログラムによる。このプログラムをもとに、「灌漑システムの復興」、「綿花栽培の再生」、「香水産業設立のための精油産業の復興」、「ハトロン州における養蜂業の復興」等のサブプログラムが策定されている。また、農民組織化と関連した「組合法」も 2014 年に制定されたが、これは全ての職種に対応したものであり、農業に特化していないため、資材の共同購入や共同出荷などへの対応や、生産から販売までの資金回収期間の長さ、天候の影響など農業分野の特殊性を考慮したものではない

タジキスタンの各種プログラムは主にドナーとの協力で作られているが、その裏付けとなる資金源が定かではなく、実効性は低いものと考えられる。

また、タジキスタンでは毎年年初に実施される大統領の声明が年度の活動方針に強く影響するため、その内容を把握する必要がある。

(2) 2012-2020 年タジキスタン共和国農業再編プログラム

2012 年 8 月 1 日、タジキスタン共和国政府決定№383「2012-2020 年タジキスタン共和国農業再編プログラム」が承認された。その概要を以下の通り整理する。

主要業務の実行者	農業省、財務省、土地開発・測地に関する国家委員会、女性と家族の諸問題に関する委員会、土地改革に関する部会、土地改良・水産資源省、経済発展貿易省、エネルギー産業省、環境保護に関する委員会、テレビ・ラジオ放送委員会、関税局、タジキスタン農業科学アカデミー、トチクスグルタ社
目的	農業部門の生産性の向上、農村地帯における民間部門の地位の強化、綿花栽培の生産性の向上、農村経営における企業活動の発展、土地利用の平等な権利の保障、灌漑システムの復旧と発達、食品の安全性の保障
課題	気候の変化への適応、土壌浸食および森林伐採の削減、土地利用、水利用の権利保障、耕作作物の選択の自由の保障、情報提供・コンサルティング部門の創設、マーケティングの確立、農業活動に関する課税制度の再編、食品自給率の向上、綿花・果物の輸出支援、効果的な農業活動のために優先的な農作物の制定と商品目録の作成、輸出用の米の生産のための中期的戦略の作成、農作物の輸出および輸入の手続きの簡素化、農作物の輸入の拡大、育種の発展
主な実現方法	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用権証明書の販売・購入など、土地不動産市場の経済的評価、銀行からの借入金の抵当としての土地利用権の活用 ・天然資源保護、牧草地、森林の再利用のための牧草地、森林の共同管理 ・土地耕作手法の実験（土壌加工、有機肥料などを最小限とする） ・低コストの貯水技術の普及 ・農村部における低コストのエネルギー備蓄技術の普及、堆肥の燃料利用廃止による土壌の生産性の向上 ・単作農法から農業の多様化への移行 ・穀物栽培と畜産の相互作用 ・農作物への課税の特恵待遇の維持、農業部門の借入金の支払いの延期 ・農作物生産者に対するコンサルティングサービスの提供のための研修センターの創設 ・農業向けのクリーンで効率的なエネルギー技術に関する専門家の養成 ・綿花部門における土地の長期利用管理、種子の品種改良 ・農作物の生産性および収益率の向上を目的とした市場情報の提供 ・果樹農園の作付面積の拡大、農業施設、技術の刷新への財政的支援

	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の需要と消費の調査、価格の制定 ・食品市場における需要に合致した農作物および作付面積の制定 ・米の国内市場保護のために、米の輸入に対する規制、国内の米価格の制定、外国の生産者との競争による損失に対する補償 ・農作物の輸出の潜在的能力の調査、輸入拡大につながるインフラの整備、優先すべき輸出支援部門の制定 ・農業省による育種農場リストの刷新、植物の検疫・保護に関する国際協定への加盟、種子の品質、種子証明制度に関する国際協会への加盟
目標となる指標	国内生産物による自給率を穀物（穀類、穀類製品）、ジャガイモ、米 90%、野菜 80～90%、果物・ベリー類 70～80%、植物油 80%に引き上げる。
予算	主要実行者の各予算

(3) 農業改革プログラムアクションプラン 2012-2020

(2) のプログラムに付随して個別テーマについてアクションプランが示され、作業内容、実施予定期間、成果などが整理されているが、計画が策定されて以降、その達成度の確認は行われていない。ここでは現在、タジキスタンが抱えている課題や想定する対応策を確認するため、本アクションプランを掲載する。

番号	目的	実施団体	資金源	指標	結果
1	デフカン農場改革と再編成(2012-2015) <ul style="list-style-type: none"> ・農業手続き、すなわち作物の選択、加工、マーケティングの意思決定に関する「農場への自由」の確保 ・「デフカン農場法」の改正完了 ・jamoat、地区、国レベルでのデフカン農場へのサポートサービスの確立 ・男女不平等の根絶 ・統計報告と課税（種類、条件、期限）の単純化 ・土地コードの改正と変更の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・SCLG ・SCWA ・その他関係省庁、機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・SCLG ・SCWA ・その他関係省庁・機関、海外の支援者からの技術援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・デフカン農場とその家族によるカギとなる農作物の多様化 ・農業手続きへのサポート提供 ・農業管理における女性の役割向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・作物選択とデフカン農場経営に関する独立した意思決定、保障された土地保有 ・経営および農業生産、不動産の分配における男女の平等 ・デフカン農場経営における公平な権利 ・デフカン農場の収益性向上
2	土地評価のメカニズムと不動産市場の発達(2012-2015) <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用権の貸借と、土地利用権の担保としての利用を導入 ・「不動産担保法」の改正の完了 ・「デフカン農場法」 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改革に関するワーキンググループ ・SCLG ・農業省 ・SCEP ・MEDT ・MEI ・MLRWR 	実施団体の資金源と海外支援者からの技術援助	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、その他資源の効率的な利用 ・農業分野の市場条件への移行の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・デフカン農場の収益性と福祉の改善 ・信用貸しへのアクセス改善 ・持続可能な土地利用と土地経営 ・不動産市場の自由化 ・国の環境安全性の

	への改正、変更の導入 ・デフカン農場の土地関連の改善	・財務省 ・SCLG ・TAAS			確保 ・農業改革と農業分野全体の発展という目標達成
3	高価値作物生産の促進（輸出向け、輸入商品の代替のため）、輸出のための果物（生、ドライ）栽培エリアの拡大（2012-2020）	・農業省 ・MEDT ・TAAS	・農業省 ・MECT ・MEI ・MLRWR ・MF・SCLG ・TAAS ・海外支援者からの技術援助	・果樹園とブドウ畑のエリア拡大	・国内消費者からの需要を満たし、果樹園およびブドウ畑からの作物輸出の可能性向上
4	経済的持続可能性の達成（2012-2015） ・短、中、長期信用貸しの提供メカニズムの発達 ・地域の経験に基づいた農業信用協同組合の確立	・財務省 ・農業省	・関係省庁 ・海外の支援者からの援助	・信用割当のプロセスの加速と、商品生産者への偏見の根絶	・信用貸しへの容易なアクセス
4.1	農業分野における、国の保険制度の確立（2012-2020）	・財務省 ・農業省 ・タジキスタン国営保険会社「Tojik-Sughurta」 ・地方自治体	・関係省庁 ・海外支援者からの技術支援	・農業生産におけるリスクの減少	・農業生産者を倒産から守る
5	新しい農業融資機能の導入（2012-2020）	・代替金融メカニズムに関するワーキンググループ ・財務省	・海外支援者からの技術援助	・農業分野の持続可能な融資機能	・融資へのアクセスの改善
6	利用協同組合とサブセクターの組合の確立と振興（2012-2020） ・立法改善と「利用協同組合に関する」法整備 ・国全体での意識向上キャンペーンの展開 ・農業協同組合の近代的なシステムの導入 ・サブセクターの団体確立の促進	・農業省 ・MLRWR ・MEDT ・TAAS	・農業省 ・MLRWR ・MEDT ・SCLG ・TAAS ・海外支援者からの技術援助	・全段階の生産者の利益を代表した、全サブセクター、特に農業分野における水・土地利用に関連したサブセクターにおける生産協同組合の発達	・原材料、技術、経済的サポートシステムの改善と農業生産効率の向上
7	課税システムの改善（2012-2013） ・農業分野の課税に関する法的措置の分析、また必要な場合、材料（肥料、農薬など）と、農業生産・産業加工に必要な機械に関する VAT 控	・農業省 ・財務省 ・その他の省庁機関	・農業省とその他関係省庁・機関 ・海外支援者からの技術援助	・材料および技術的資源へのアクセス改善	・農業生産の向上とこの分野における効率と生産性改善

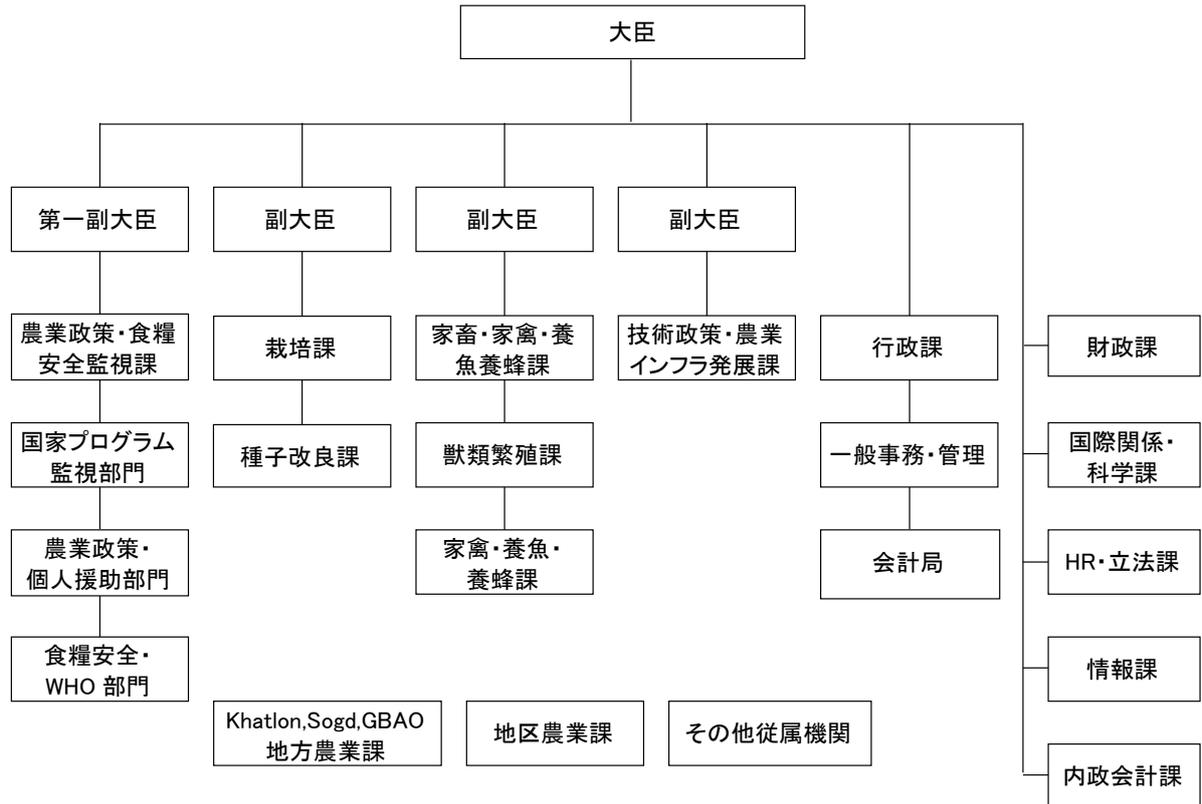
	<p>除への対策のために確立された規則に従った分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産のための機械供給に関するリース事業 ・特定の作物の優遇課税の廃絶 				
8	<p>農業分野の多様化・強化戦略の作成 (2012-2013)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綿花を油料作物、穀物へ置換する ・飼料ベースへのアクセス改善 ・農機リース機能の発達 ・金融産業グループを基盤とした統合および民間セクターの確立 ・飼料集中生産と飼料作物加工のための小企業の創設 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・TAAS ・地方自治体 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家プログラムの枠組み内での農業省 ・TAAS ・地方自治体予算および国内外からの投資 	<ul style="list-style-type: none"> ・油料作物生産の増加と、種子素材にかかる支出の減少 ・家畜、家禽、改良されたウサギ飼育の生産性向上 ・効率的な水資源の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・加工産業への原材料の適正な供給。1日の消費の生理学的な適正量に基づき、国内消費者の料理用油の需要を満たす
9	<p>畜産分野の発展 (2012-2020)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「畜産」に関する新法の採択 ・純粋種育成に関する農場の要求に応え、畜産振興のためのサポートシステムを開発する 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・TAAS 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家プログラムの枠組み内および国内、海外の投資家 	<ul style="list-style-type: none"> ・純粋な動物種の個体ごとの体重の増加 ・食肉、牛乳、羊毛の生産量の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜サブセクターにおける国家食品安全の達成（家畜製品の適正な供給）
10	<p>有効な動物間流行病予防環境の創出と食の安全の確保 (2012-2020)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「獣医サービス」に関する法の見直しと改正 ・獣医薬学業界発展のためのサポート提供 ・民間の獣医サービスの振興 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・TAAS ・地方自治体 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・TAAS ・海外支援者からの技術援助 ・国内外からの投資 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物間流行病予防環境の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜の健康状態と家畜製品の安全性向上 ・倒産予防 ・人民への安全な食物の供給
11	<p>天然資源の持続可能な利用・管理の確立 (2012-2020)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然資源減少を防ぐための策についての人々の意識向上のための活動展開 ・「牧草地」に関する法案の作成 ・飼料作物エリアの作付けパターン 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・MEDT ・MEI ・MLRWR ・SCLG ・SCEP ・TAAS ・地方自治体 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家予算からの融資と国内外からの投資 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬場の牧草地の生産性を 0.10 ~ 0.15 トン/ha、夏場は 0.20 ~ 0.25 トン/haまで向上 ・飼料生産の可能性増大 	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜生産性の向上と家畜製品の全生産増加 ・地元で生産された飼料により、家畜分野のニーズを満たす

	<p>の改善と、牧草地の再生と持続可能な利用管理の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜の移牧(移動)と家畜の一時的な安住地のための道路計画の改善 				
12	<p>気候変動適応のための農業技術の発達(より干ばつに耐性のある穀物とマメ科の植物の選定)。適応に関する科学的なリサーチと研究の実施(2011-2020)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・MEDT ・CEP ・TAAS ・地方自治体 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年承認される国家予算の一部 ・国内外からの投資 	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥地における穀物とマメ科の植物の生産増加 ・環境因子にかかわらず、高い収穫量につながる農業生産のための最適な対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の乾燥地における安定した、また持続可能な穀物とマメ科の植物の収穫 ・そのほかの農業作物の安定した収穫 ・潜在的な倒産の防止
13	<p>種子増殖の開発(2012-2020)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出向け作物、飼料、野菜、花苗木の種子増殖システムの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・MEDT ・MEI ・TAAS ・地方自治体 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家プログラムの枠組み内および国内、海外の投資家 	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物のための持続可能な種子増殖ベース ・高品質綿花種子の生産と、未利用の効率的な種子素材の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業作物の収穫増大と農業作物輸出の拡大 ・綿花栽培農家のための、高品質で病気に強い地元産の種子の充足
14	<p>農業作物のマーケティングに関する統合的なパッケージの開発と導入(2012-2020)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングのための最終的な機能の開発 ・マーケティングに関する現存の慣例と法的措置の分析 ・マーケティングに関する技術経済的実行可能性の評価実施 ・農業生産の「商標権」に関する規制の立ち上げ ・農業製品の輸出入の値段設定の方法の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・MEDT ・TAAS ・国営テレビ・ラジオ委員会 ・運輸省傘下の税関 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の支援者からの技術援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外のマーケットにおける農作物の促進向上と対外売り上げの増大 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民と農業生産の要求の充足 ・商品販売からの収入増
15	<p>農業保管団体の創立(2012-2015)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係法と慣例の制定 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・TAAS 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・TAAS ・海外支援者からの技術援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物販売においてデフカン農場の活動促進 ・冬のための適正なストックの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物販売において守られているデフカン農場 ・国内市場において確約された農作物価格の安定
16	<p>農業生産における科学的成果の素早い導入、採用の機能の発展(2012-2013)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・TAAS 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・TAAS ・海外支援者からの技術援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産への科学的成果の導入、採用の割合とレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業分野における生産性と効率の向上
16.1	<p>農業改革の基本的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格のあるスタッ 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業分野で新しく

	な方向性に沿った、スタッフのトレーニングと能力育成の新しい必要条件の見直しと決定 (2012-2020)	<ul style="list-style-type: none"> ・MKSP ・TAAS 	<ul style="list-style-type: none"> ・MKSP ・TAAS 	フのトレーニングと市場志向の農業を行う能力	必要とされるフィールドにおける、資格のあるスタッフの確保
16.2	将来性のある、環境にやさしくエネルギー効率の良い技術の振興に関する提言の作成 (2012-2020)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・MEI ・MEDT ・TAAS 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・MEI ・MEDT ・TAAS 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来性のある、エネルギー効率の良い技術振興のための提言数の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学調査機関が開発と経済基盤の強化のためのより多くの機会を持つことができる
17	投資プランの制定 (2012-2013)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・MEDT ・財務省 ・MMWR ・MEI ・SCLG ・SCISP ・MLSP ・TAAS 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外支援者からの技術援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業改革プログラム実施へのサポート提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全の達成
18	農業分野の民間部門の発展支援 (2012-2015) <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な投資環境改善のための法的基盤の強化 ・半官半民部門発展のための戦略作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・MEDT ・財務省 ・MO ・MLRWR ・MEI ・SCLG ・SCISP ・MLSP ・TAAS 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外支援者からの技術援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・当分野における競争力の向上と好ましい雇用条件 	
19	現存の職務上の責任の併合と修正を通じた、タジキスタン共和国農業省の再構築 (TOR) (2012-2013) <ul style="list-style-type: none"> ・農業省と民間部門の役割の決定と分割 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、地方レベルでの農業経営システム改革に関するワーキンググループ ・民政 ・農業省 	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年までの食の安全プログラム内の融資枠組内 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営の新しいシステムへの移行 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家政策、法的枠組みおよび農業分野の規則制定機能の効率的な実行
20.1	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省の最終的な経営構造と法的枠組みの確立 (2012-2013) 				<ul style="list-style-type: none"> ・新たな TOR に沿ったスタッフのパフォーマンスの向上と、機能の非重複
20.2	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省のもとに情報コンサルティングセンターを確立 (2012-2013) ・農業分野での諮問サービスのための組織基盤の確定 (2012-2013) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省 ・TAAS ・その他省庁機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家予算 ・農業省 ・TAAS ・支援者からの経済技術援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産者のより良い (容易な) 情報へのアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業分野の発展 ・公害農場の企業家精神の向上と農場の利益性の向上
21	灌漑へのアクセス改善 (2012-2013) <ul style="list-style-type: none"> ・政策作成、国レベルでの規制とオペレーションにおける役割と機能の分離 	<ul style="list-style-type: none"> ・水資源管理の灌漑システムに関するワーキンググループ ・MMWR 	<ul style="list-style-type: none"> ・MMWR ・海外支援者からの技術援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・水資源利用の効率向上、デフカン農場の灌漑水へのアクセス向上、灌漑システムのより良い状態 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産と農場の利益性の向上

	・河川流域管理の導入と「MIROB」代理店の確立				
22	<p>社会のセーフティネット法案の制定 (2012-2020)</p> <p>－改革の社会経済的影響をモニターする機能の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の社会的発展に関するワーキンググループ ・MEDT ・農業省 ・財務省 ・SCISP 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家予算と海外の支援者からの技術援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・改革によって不利益を被る脆弱な団体の見極め 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な政治的判断促進の機会

3. 農林水産関係政府機関・団体

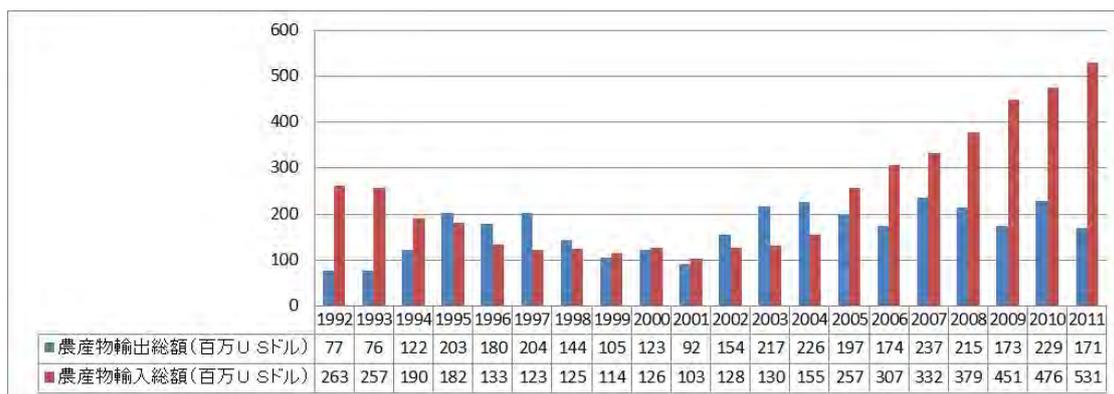


出所：タジキスタン農業省

4. 農林水産貿易の概況

(1) 貿易状況

タジキスタンは前述のように農業用地として使われる土地が限られているため、農作物の貿易においては圧倒的に輸入超過である。輸出に関しては、金額の66%が綿花で、野菜、果物はわずかである。輸入においては45%が穀物および小麦粉、28%が既成食品というように、生活必需品を多く輸入していることがうかがえる。農作物の輸出入は多様性に乏しい。輸出では綿花の輸出が60～80%を占め、それ以外では果物や野菜が8～15%を占める。綿花の輸出価格に関しては国際価格の影響を受け、野菜や果物の輸出はロシアの市場価格により、大きく左右される。



出所：FAOSTAT

農産物輸出入総額の推移(百万米ドル)

(2) 輸出

農作物の輸出は全輸出量の3分の1を占め、輸出の中心品目である。旧ソ連時代から主要な輸入農産物は、綿花であった。1990年代初めは85万トンの生産量があった。しかし国内の政治的、経済的危機が原因で全品目の農作物の輸出が大きく減少した。特に2006年から2009年にかけて綿花の輸出量は削減された。これは不安定な国際価格がその大きな要因となっている。農作物の輸出の95%はロシア向けである。タジキスタンの輸出は旧ソ連時代の専門化にいまだに大きな影響を受けており、経済の近代化はまだ不十分である。タジキスタンが強い競争力を持つのは、野菜や穀物など付加価値の高い農作物であるが、ここ5年間に大きな増加はみられない。2011年と2012年の全輸出量における食品の割合は4.4%と3.6%と決して高くない。

輸出農産物上位 5 品目 (2011 年)

品目名	輸出額 (百万米ドル)	農産物総額に 占める割合 (%)
木綿	113	66.1
ドライタマネギ	21	12.3
ドライフルーツ	16	9.2
トマト	7	4.3
米	2	1.1
上位5品目計	159	93.0
上記以外農産物計	12	7.0
農産物総額	171	100.0

出所：FAOSTAT

(3) 輸入

タジキスタンは農業に適した土地が少ないため、食料の大部分を輸入に依存している。そのため、農作物、とりわけ小麦、砂糖、植物油、野菜などの輸入が増加傾向にある。穀物のおよそ 50%は輸入に頼っている。小麦と小麦粉、砂糖、野菜、果物、ジャガイモ、鶏肉、牛乳、卵などが主要品目である。2011年と 2012 年の全輸入量における食品の割合は 20.2%と 20.5%と先述の輸出状況とは逆に高い数字を示している。とりわけ 2012 年には、食品の輸入量は前年と比較して 33.1%増であった。また輸出とは対象的に、相手国も非常に多様であり、CIS 諸国以外にも、中国、トルコ、イランなどと取り引きをしており、特に中国は 2007 年から 2011 年までの 5 年間で全体の割合の 0%から 20%まで増加している。

輸入農産物上位 5 品目 (2011 年)

品目名	輸入額 (百万米ドル)	農産物総額に 占める割合 (%)
小麦・小麦粉	195	36.7
砂糖	80	15.1
チョコレート製品	46	8.6
鶏肉	25	4.7
綿実油	24	4.5
上位5品目計	230	69.6
上記以外農産物計	301	30.4
農産物総額	531	100.0

出所：FAOSTAT

5. 農業投資状況

(1) 農業投資概況

タジキスタンにおける農業投資は投資額全体のわずか数パーセントに過ぎない。しかし近年政府主導で、国際機関との協力による直接投資の誘致が行われている。例えば、2014年には世界銀行と国際金融公社の協力の下、農場経営の再編と生産力の向上、国内、国際市場での競争力の向上のために2,200万米ドルの投資が行われた。

政府による全投資に占める部門別の割合の推移(%)

部門	2000	2005	2009
工業	35.6	19.1	47.8
農業・漁業・林業	8.2	3.3	2.0
建設	-	-	0.03
輸送・通信	27.4	22.1	11.6
商業(自動車修理、日用品等)	0.3	5.5	1.2
その他	28.5	50.0	37.4

出所：CIS 統計委員会

(2) 他ドナーによる支援

1) 国際連合食糧農業機関 FAO

戦略目標別プロジェクト

タジキスタンの企業のために FAO 資金により進行中のプロジェクト (2014年1月1日現在)

技術協カプログラム(TCP)

記号	名称	期間	予算総額 (米ドル)	2014/1/1 現在 使用可能額
TCP/SEC/ 3402	水産養殖と養殖漁業の気候変動への適応力の強化	2013-2015	371,000	358,752
TCP/SEC/ 3403	中央アジアにおける国家植物衛生監督業務の強化	2014-2015	425,000	0
TCP/TAJ/ 3401	イナゴ管理の能力改善に対する支援	2012-2014	367,000	166,912
TCP/TAJ/ 3402	農民およびその他の利害関係者のニーズによりよく応えるための獣医学教育の強化	2013-2014	50,000	50,000
TCP/TAJ/ 3404	タジキスタンにおけるキヌアの紹介および振興のための技術支援	2014-2015	50,000	50,000
TCP/TAJ/ 3405	近代的穀物管理方法の採用と振興のための技術支援	2014-2015	370,000	370,000
TCP/TAJ/ 3501	TCP施設	2014-2015	42,466	0
TCP/SEC/ 3402	水産養殖と養殖漁業の気候変動への適応力の強化	2013-2015	371,000	358,752

FAO 信託ファンドと国家の共同プログラム(TF/GCP)

記号	名称	期間	予算総額 (米ドル)	2014/1/1 現在 使用可能額
GCP/INT/ 123/MUL	経済協力機構加盟国における種子部門の 発展	2013-2015	400,000	323,432
GCP/RER/ 031/TUR	水産業および水産養殖発展のための中央 アジア地域プログラム(FISHDEV - CA)	2009-2014	1,799,998	275,341
GCP/RER/ 040/EC	旧ソ連における危険な化学物質を含むた め廃止された未使用の農薬の再使用の除 去・防止能力の改善	2012-2015	8,000,001	5,252,688
GCP/RER/ 042/GFF	中央アジア諸国とトルコにおける農薬の ライフサイクルマネジメントおよび残留 性有機汚染物質含有農薬の廃棄(PPG)	2014-2015	200,000	0
GCP/RER/ 044/TUR	食糧安全保障のための ECO 地域調整セ ンター (RCC-FS)	2013-2016	499,211	341,644
GCP/SEC/ 001/TUR	中央アジア諸国における牛の生産性向上	2011-2014	600,000	323,661
GCP/SEC/ 002/TUR	中央アジアおよびコーカサスにおける山 岳部流域の持続的 management のための能力開発	2012-2014	300,000	231,294
GCP/SEC/ 004/TUR	コーカサスおよび中央アジアにおけるよ り良い国家および地域のイナゴ管理	2012-2017	600,000	0
GCP/SEC/ 006/TUR	FAO-GIEWS 価格データベースと分析手段	2013-2014	150,000	126,014
GCP /TAJ/ 007/EC	国家食糧安全保障情報システム強化の支 援 (DCI-food/2011/261-087)	2011-2015	2,682,782	972,622
GCP /TAJ/ 009/TUR	動物および人間の効果的かつ持続的ブル セラ検査によるタジキスタンにおける食 糧安全保障、食の安全、困窮者の生活水準 の向上	2012-2014	180,000	33,137
GCP /TAJ/ 010/AUS	タジキスタンにおける中小農民による高 品質の種の利用の増加	2012-2017	925,131	278,764

UTF(TF/UTF)

記号	名称	期間	予算総額 (米ドル)	2014/1/1 現在 使用可能額
UTF /TAJ/ 011/TAJ	農業商業化プロジェクトの準備	2014-2014	535,000	0

2) アジア開発銀行 ADB

①プロジェクト名: 47181-001 ピヤニ川流域水資源管理プロジェクト

支援の種類	技術支援 (承認番号 8647)
ADB 資金提供額	80 万米ドル
承認日	2014 年 5 月 12 日
概要	PPTA はピヤニ川流域のチュバク灌漑システム地域の農場の収益向上のための投資プ ロジェクトを設計する。2014 年 7 月から 2015 年 5 月まで実施予定。

②プロジェクト名: 45354-002 ピヤニ川流域地域における気候変動に対する適応

支援の種類	交付金（承認番号 0352）
資金提供	公共部門 Sovereign
承認日	2013年7月25日
概要	ピヤニ川流域地域における気候変動に対する適応力の向上、村落における気候変動による影響の緩和を目指す。

③プロジェクト名: 33042-022 政策改革の監視および農業・水管理の改善のための支援

支援の種類	技術支援（承認番号 4472）
承認日	2004年12月10日

④プロジェクト名: 33042-013 灌漑再建プロジェクト

支援の種類	融資（承認番号 2124）
ADB 資金提供額	2,270 万米ドル
承認日	2004年12月10日
完了日	2011年8月23日

3) 世界銀行

①プロジェクト名: タジキスタン農業商業化プロジェクト

プロジェクト ID	P132652
国	タジキスタン
地域	ヨーロッパおよび中央アジア
認可	2014年6月10日
完了	2021年6月30日
プロジェクト総額	2,592 万米ドル
拠出額	2,200 万米ドル
概要	増加した金融へのアクセスと強化されたプロジェクト受益者の能力を利用し、選択された価値連鎖および生産パートナーシップの性能を改善させることによって、農場およびアグリビジネス製品の商業化を進める。

②プロジェクト名:タジキスタンの持続的農業のための土地登記・土地台帳システムプロジェクト(追加融資)

プロジェクト ID	P129313
国	タジキスタン
地域	ヨーロッパおよび中央アジア
認可	2012年2月12日
完了	
プロジェクト総額	1,007万米ドル
拠出額	1,000万米ドル
概要	農場私有化支援プロジェクトの枠内で農地再編成活動を拡大し、より多くの農民が独立した農民となり市況に応じて自ら経営の意思決定をすることを目的とする。

③プロジェクト名:持続的農業のための土地登記・土地台帳システムプロジェクト(LRCSP)

プロジェクト ID	P089566
国	タジキスタン
地域	ヨーロッパおよび中央アジア
認可	2005年4月21日
完了	2016年3月31日
プロジェクト総額	1,060万米ドル
拠出額	1,000万米ドル
概要	農場私有化支援プロジェクトの枠内で農地再編成活動を拡大し、透明で公平な形で確実な土地使用权と時代に即した必要な支援を農民に与えることにより、多くの農民が独立し市況に応じて自ら経営の意思決定をできるようにすることが目的である。